



声を上げれば変わる。

私たちの生活を守るには、組織内議員が必要不可欠！

皆さん、ご安全に！村田きょうこです。2月前半は立春、暦の上では春ですが、まだまだ寒さが続きます。とくに日本海側は大雪が降りやすい時期でもありますので、能登半島地震によって普段とは異なる慣れない生活をされておられる皆様には、お体の調子を崩されませんようお祈り申し上げます。

JAM新潟組合員の声で、会社を守る

会社の売上げが回復したことで、再エネ賦課金の免除から外れる。

再エネ賦課金の負担が発生したことで、電気代が年1.5億円増加する見込みになる。会社の存続危機に。

JAMを経由し、村田享子参議院議員へ相談する。

村田享子参議院議員が、経済産業省へ問い合わせし、現場の声を届ける。

再エネ賦課金の対象外となり、電気代の追加負担を免れる。
▶会社の経営を守ることが出来た。



再エネ賦課金(再生可能エネルギー発電促進賦課金)とは

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度※」によって電力会社等が買取りに要した費用を、電気の使用量に応じて、電気料金の一部として、電気を使用になる契約者が負担するものである。(実質的な税金)

いつ	2023年12月➡2024年1月
誰が	JAM新潟加盟 100人未満の中小単組
どうして	会社の売上げが回復したことで、再エネ賦課金を支払う対象になった。 会社側が電気代を試算したところ、年1.5億円も負担が増加することがわかった。
どのように	JAMを通じて、村田享子参議院議員へ相談。 村田享子参議院議員が、その場で経済産業省へ確認し、現場の声を役所へ届ける。
結果	2024年1月末に再エネ賦課金の免除の対象に認定され、年1.5億円の負担増がなくなった。 準組織内議員に相談したことで、会社の経営を守ることが出来た。

私たちの生活を守るためにも、いつでも相談出来る組織内議員が必要不可欠です。

相談出来る仲間を増やすためにも、私たちには”郡山りょう”が必要です。